



# 議会だより

発行  
那須烏山市議会

編集  
議会広報委員会

事務局  
☎0287-88-7114

主な内容	
6月定例会のあらまし	1
一般質問議員と項目	1
烏中3年生議会体験	1
一般質問と答弁	2
主な質疑	3
研修報告	3
議会新体制スタート!	4



3列目左から ⑬小森幸雄議員 ⑭滝田志孝議員 ⑮高田悦男議員 ⑯中山五男議員 ⑰平塚英教議員 ⑱樋山隆四郎議員  
2列目左から ⑩久保居光一郎議員 ⑪沼田邦彦議員 ⑫高徳正治議員 ⑬佐藤昇市議員 ⑭板橋邦夫議員 ⑮水上正治議員 ⑯平山 進議員 ⑰佐藤雄次郎議員  
1列目左から ①田島信二議員 ②川俣純子議員 ③渡井由放議員 ④渡辺健寿議員  
(氏名前の数字は、議員番号)

**6月定例会は1日(火)に招集され、10日(木)までの10日間の会期で開かれました。提出された議案はすべて原案のとおり可決されました。可決された議案は次のとおりです。**

※議決された議案の内容等は「広報那須烏山第58号」(7月9日発行)をご覧ください。

- ・平成22年度一般会計補正予算(第1号)
- ・平成22年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- ・平成22年度水道事業会計補正予算(第1号)
- ・職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正
- ・職員の育児休業等に関する条例の一部改正
- ・職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例の一部改正
- ・税条例の一部改正
- ・烏山小学校校舎(本館)改修工事請負契約の締結

## 一般質問者と質問項目



久保居光一郎 議員

- 1 官民協働事業「市民暮らしのガイドブック」の概要と進捗状況について
- 2 市臨時職員への賃金の支払い状況と勤務の現状について
- 3 通学路の安全対策について



平塚 英教 議員

- 1 那須南病院と地域医療の充実について
- 2 市緊急経済対策の充実強化について
- 3 市の事業仕分けについて
- 4 市営バスと総合交通対策について
- 5 「あすなる作業所」の移転について
- 6 市公共施設跡地利用について



中山 五男 議員

- 1 投票率の向上策について伺いたい
- 2 叙勲受章者に対する市の対応について
- 3 高校中途退学者の未然防止策について



小森 幸雄 議員

- 市政の重要課題について基本的な考え方を伺う



渡辺 健寿 議員

- 1 企業誘致の進捗状況について
- 2 公共施設の跡地利用について
- 3 高齢者及び障がい者福祉支援対策の充実について

那須烏山市議会では、  
夏季期間中  
「クールビズ」を  
推奨しています。

## 意見書提出

6月定例会において、国会と関係行政庁へ次の意見書を採択し、提出することを決めました。  
**社会的セーフティネットの拡充に関する意見書**  
(請願書の採択に伴う意見書)

**農業農村整備事業に係る予算措置を求める意見書**  
(要望書の趣旨採択に伴う意見書提出)

## 烏中3年生が議場で模擬議会体験

6月25日(金)に市役所南那須庁舎の議場において、烏山中学校3年生を対象に、出前講座「議会ってどんなことをしているの」を行いました。  
生徒のみなさんは実際に議場に入場し、それぞれ議長席、議員席、執行部席に着席し、事務局職員の講義を受けたあと、事務局で用意した質問書と答弁書を使った簡単な模擬議会体験を行いました。

模擬議会で議長役を体験した横山勇輝君は「これまでは、議会のしくみというものがよくわからなかったが、実際に模擬議会を進行してみても身近なものに感じました。」と話していました。



那須烏山市議会は、公職  
選挙法の趣旨を踏まえ、  
初盆のごあいさつをご遠  
慮させていただきます。



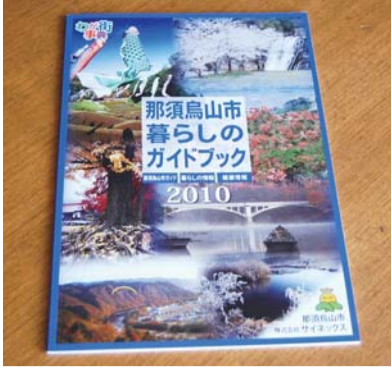
平成22年6月定例会

# 一般質問から

※質問・答弁の内容は要約してあります。詳しくは議会事務局(TEL0287-88-7114)までおたずねください。

## 官民協働事業 「市民暮らしのガイドブック」の概要について

久保居光一郎議員



完成した「暮らしのガイドブック」。  
7月の自治会文書配付により各世帯に配付された。

**(問)** 官と民との協働事業であれば、当初に内容や経費等の予算について、業者と協議が行われていると思うが、その内容について伺う。

**◎総合政策課長** 発行部数と発行日については協議したが、費用はすべて業者の責任との確認を得ているので、予算や広告費等についての協議はしていない。

**(問)** 5年前の合併当初に「暮らしのガイドブック」を発行したとのことだが、発行部数と事業費、また印刷業者はどこかを伺う。

**◎総合政策課長** 発行部数は12,000部。事業費は107万8千円で印刷は市内業者と記憶している。

**(問)** 今回は同じ発行部数で事業費は1,035万円(印刷費560万円・人件費360万円・諸経費115万円)とのことだが、高額と思わないか。また詳細な内訳を認識しているのか。

**◎総合政策課長** この業者は実績がある。内訳の詳細や高いか安いかの判断は正直いたしかねる。

**(問)** 他自治体の事例をもつて安易に官民協働とは言い難い、本市の官民協働はどうあるべきか、地域主権の視点からしても、今後は慎重な判断を願いたい。

**◎市長** 官民協働の理念は議員と同じだ。過剰な営業行為があったことは事実だ、反省材料としたい。

## 低落が続く投票率の向上策を伺う

中山 五男議員

**(問)** 昨春秋に執行された市長選挙の投票率は、62%(前回75%)で、今春の市議会議員選挙でも投票率は72%(前回78%)であった。低落し続ける投票率の向上に向け、選挙管理委員会ではどのような啓発活動を行っているのか。

**◎選挙管理委員会書記長** 選挙管理委員会では、チラシや選挙広報の配布により啓発を行っている。投票結果を分析すると、20代の約半数が棄権している。今後は若年層への棄権防止策を講じたい。

**(問)** 公職選挙法の改正により、それまで午後6時までであった投票時間が午後8時までとなった。投票率の向上を期待しての2時間延長であったが、その「対費用効果」が上がっていない。市長は投票時間を短縮する法改正を総務省等へ要請すべきではないか。

**◎選挙管理委員会書記長** 投票時間の短縮については、選挙管理委員会連合会が要望活動を展開している。

**◎市長** 県市長会においても意見書提出に努力している。



南那須庁舎の期日前投票所

**(問)** 県内の高校生中退率は2・5%で全国ワースト2位。この中退問題は県教育委員会が対処すべきであるが、その生徒を送り出して

いる中学校ではどのような取り組みをしているのか。

**◎教育長** 市教育委員会で小中学校でキャリア教育全体計画を作成し、組織的、体系的に児童生徒の成長を長期的なものにとらえ指導支援しており、このような取り組みが高校中退者の防止にも繋がっていくと考えている。

## 「あすなる作業所」移転は最優先課題

渡辺 健寿議員

**(問)** 障がい者福祉作業所「あすなる作業所」の整備と同作業所への連絡市道の安全対策について伺う。

**◎市長** 同作業所は築43年を経過し、老朽化も著しい。敷地も通所する市道もせまい。平成23年度末まで障がい者自立支援法に基づく障がい者就労継続支援事業所に移行することや、県内でも誇れるモデル的な作業所であることから最優先課題として移転もしくは改築に最大限の努力をする。指摘のあった市道についても非常に危険であることから、早急に具体的な方針を固める。

**(問)** 公共施設の跡地については、暫定的に利用しつつ、活用計画施設以外の施設について売却または賃貸を前提とした不動産鑑定評価を行ったと昨年の秋に報告を受けた。年内には一般公募をしたいとのことであったが、その後の経過と結果はどうなったか。

**◎市長** 21年度の公募を目指したが間に合わなかった。県有施設の公募では、応募者がなかったり、決定後に応募者が辞退した事例もあるため、市からの一方的な売却ではなく、取得希望者からの具体的な利用計画の策定、提出を求めている。今年7月上旬にお知らせ版やホームページ等に掲載し、全国的な一般公募を行い、今秋には売却、賃貸を決定したい。



「あすなる作業所」での作業風景

## 市営バスと総合交通対策について

平塚 英教議員

**(問)** 本市では、公共交通再編整備計画に着手し、新たな公共交通網の整備を図るための素案を、来年3月を目途に策定することであることを。交通弱者の利便性を重視し、循環バスのメリットを活かす市民が利用しやすいものにならなければならぬ。公共交通再編整備計画をどのような方法

で検討し、いつから運行を開始する予定なのか。

**◎市長** 本市には、JRR山線を主軸として、市営バス、民営のバス、スクールバス、福祉バスなど様々な公共交通手段がある。本市の現況や将来を見据え、持続可能な公共交通システムの再構築を図るため、現在、公共交通再編整備計画の策定に取り組んでいる。策定にあたっては、公共施設の再編と都市再生ビジョンとの整合性を踏まえ、市街地を核とした市内全体の合理的な交通網を形成したい。

デマンドバス、乗り合いタクシーの導入も検討しながら、地域の実情に応じてデマンド型・循環型・定期運行型から有効な組み合わせを考えていく。計画の策定は、市民・宇都宮大学・交通事業者・庁内プロジェクトチームで構成する協議会で進め、県内先進地を参考にしながら、国の地域公共交通活性化再生総合事業を活用し、来年10月の実証運行開始を目指す。

**(問)** 平成20年の9月議会一般質問において「道の駅構想」について尋ねたところ、積極的に検討を進め、実現を図りたい旨の答弁をしたと記憶しているが、現在、どのような状況にあるのか。

**◎市長** これまで民主導による運営形態を目指す観点から、慎重に調査研究を進めてきた。今年度から新たに「道の駅推進担当職員」を配置し、各課職員で構成する「道の駅整備構想策定プロジェクトチーム」の立ち上げ作業を行っている。今後、交通量の実態も含めた道の駅の設置等の具体的な検討に着手し、本市独自の「ミニ道の駅構想」を策定していく。

## 市政の重要課題について基本的な考え方を伺う

小森 幸雄議員

**(問)** 市の総合計画「ひかり輝くまちづくりプラン」がスタートし、3年目を迎えた。これまでの進捗状況と今後どのような手法で総合計画を実現していくのか。

**◎市長** 本計画は、まちづ





# 主な質疑

6月定例会に上程された議案の審議の中で、議員の質疑の中から主なものを要約して掲載しています。

## 平成21年度

### 一般会計繰越明許費

#### 繰越計算書について

**議員** 子ども手当のシステム改修事業費が含まれている。本市では子ども手当の支給はいつから始まるのか。また、その対象者はどれくらいいるのか。

## 子ども課長

5月20日までに申請をされた方には、6月15日に指定口座に振り込みをする。また、対象者は、約3,870名である。

**議員** 商品券発行支援事業の300万円が繰越されているが、今年の商工会の方から「わくわく商品券」発行の要望があった場合、市として支援する考えはあるか。

## 市長

「わくわく商品券」は、この不況下には地域経済にとって大変効果的であったと報告を得ている。今後、商工会や事業者の皆さんの意見をうかがい、前向きに検討したいと考えている。

## 職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正

**議員** 職員には年次休暇、

傷病休暇、介護休暇、夏季休暇など様々な休暇が整備されているが、今回また新たな休暇が設けられようとしている。このような休暇制度は、市内企業においても普及されているのか。

## 総務課長

今回の改正は地方公務員法に準拠し、子育て支援環境を整備するための休暇制度の拡充である。これらの制度は、民間企業にもある程度義務化が進められるため、まず公務員が率先した休暇制度の整備を図り、地域社会への普及を図ることが必要であると考え

## 平成22年度

### 一般会計補正予算

**議員** 小学校教育振興費の備品購入費で楽器購入とあるが、どの小学校の楽器を購入するのか。

## 学校教育課長

この備品購入費については、5月に鳥山城カントリークラブで開催された栃木県プロゴルフ協会主催によるチャリティゴルフ大会の主催者から、子どもたちの福祉教育事業に使用してほしいと約43万円の寄付をいただき、これを活用するものである。今回は、鳥山小学校の楽器を購入

する。

## 議員

市有財産管理費の修繕費で、現在閉鎖中となっている「わらび荘」の新規運営事業者が決定したとのことであるが、詳細について説明いただきたい。

## 総務課長

「わらび荘」の新規運営事業者の募集をしたところ、エコクラブという団体から応募があった。事業内容は、既存の施設をそのまま活用し、宿泊体験や地元食材での食事体験を行い、7月から運営したいとのことである。修繕費については施設の一部に雨漏りがしているため、その費用150万円である。



修繕が進む「わらび荘」

## 副市長

本体改修工事については、予定価格2億4,400万円、落札業者は平野・鈴木共同事業体、落札金額は2億2,500万円、落札率は92.21%である。電気設備工事については、予定価格3,030万円、落札業者は株式会社那須電機、落札金額は2,424万2千円、落札率は80.01%である。

## 議員

学校施設の整備については、これまででも執行部で原案を固めてから、事業期間が数年、総額10億円以上かかるものを単年度ごとに議案として議会に上程している。このような場合は、原案を固める前に、議会と協議を行う時間をいただくよう要望する。

## 市長

議員の提言を真摯に受け止め、予め議会と協議、検討を行う時間を設定する。

## 鳥山小学校校舎改修工事請負契約の締結について

**議員** 今回の改修工事請負契約工事入札の予定価



改修工事が始まった「鳥山小学校」

# 研修報告

## 文教福祉常任委員会

文教福祉常任委員会では、7月1日(木)に市内の障がい者福祉作業所を視察してまいりました。今回視察研修を行った施設とその概要は次の表のとおりです。

施設の名	すずらん作業所	あすなる作業所	あすなる作業所 ぱん工房「風」	みつわ工房
所在地	田野倉 (保健福祉センター内)	野上	金井 (山あげ会館内)	月次
施設の構造	鉄筋コンクリート造	木造	鉄筋コンクリート造	木造
運営主体	社会福祉法人 那須烏山市社会福祉協議会			社会福祉法人 みつわ会
建築年次	平成11年(築11年)	昭和41年(築44年)	平成3年(築19年)	平成15年(築7年)
通所人数	8人	15人	5人	20人(登録者30人)
通所形態	徒歩1人、自転車1人、JR鳥山線3人、家族による自動車送迎3人	徒歩5人、自転車5人、家族による自動車送迎5人	徒歩1人、自転車2人、家族による自動車送迎2人	徒歩3人、自転車5人、自動車2人、家族等による自動車送迎1人、施設による自動車送迎19人
作業の種類	切干大根の袋詰め、アルミ缶詰し等	石鹸製造、ウレタン樹脂のカット、アルミ缶詰し、部品の組み込み、箱折、手織り製品の製造等	パンの製造・販売、あすなる作業所製品の販売	機密文書の出張裁断、古紙回収、基盤の解体・分別



「あすなる作業所」で説明を受ける委員

## 結びに

各施設を視察して、まず感じたことは、通所されているみなさんが明るく、一生懸命に作業をしているということでした。また、その一方で、今回訪れた施設のうち、「みつわ工房」を除く3つの施設は市の施設ですが、その中でも特に「あすなる作業所」は築40年以上経過しており、耐震性やバリアフリー等の安全面への対応、衛生面の問題、施設への連絡道路などを見るに、今後、何らかの措置が必要ではないかと感じました。障がい者自立支援法に基づき就労移行支援を行う施設として県の認可を受けるために、平成23年度までに施設の整備と各種手続きが必要になると思われる。通所されているみなさんのために最大限の配慮が必要であると思います。文教福祉常任委員会

委員長 渡辺 健寿



「みつわ工房」での研修の様子



# 議会新体制スタート!

平成22年4月25日に執行された市議会議員選挙において18名の議員が選出され、5月6日に開催された第3回市議会臨時会において、市議会の新体制が次のとおり決定しました。(◎は委員長、○は副委員長。委員の任期は2年。)

議長 滝田 志孝  
副議長 平山 進

### ◆総務企画常任委員会

樋山 隆四郎 ○沼田 邦彦  
小森 幸雄 ◎佐藤 昇市  
高田 悦男 滝田 志孝

### ◆文教福祉常任委員会

洪井 由放 川俣 純子  
佐藤 雄次郎 ◎渡辺 健寿  
水上 正治 ○久保居光一郎

### ◆経済建設常任委員会

田島 信二 平山 進  
中山 五男 ◎高德 正治  
板橋 邦夫 ○平塚 英教

### ◆議会運営委員会

◎水上 正治 ○高田 悦男  
川俣 純子 ・渡辺 健寿  
・高德 正治 ・佐藤 昇市  
・平塚 英教

### ◆議会広報委員会

◎平塚 英教 ○洪井 由放  
・田島 信二 ・川俣 純子  
・久保居光一郎 ・沼田 邦彦  
・平山 進 ・佐藤雄次郎

### ◆南那須地区広域行政事務組合議員

・沼田 邦彦 ・小森 幸雄  
・滝田 志孝 ・高田 悦男  
・中山 五男 ・樋山隆四郎  
◆議会選出監査委員  
・板橋 邦夫



### 6月議会の傍聴者数

月日	内容	傍聴者数
6月1日(火)	開会・上程・採決・付託	10人
6月2日(水)	一般質問	29人
6月3日(木)	一般質問	27人
6月10日(木)	報告・採決・閉会	2人
計		68人

**9月議会は、9月7日(火)開会予定です。**  
※正式な日程は、8月31日に開催される議会運営委員会で決定されます。

### 特別委員会を設置

6月定例会において、次の特別委員会を設置しました。(◎は委員長、○は副委員長)

### 行財政改革特別委員会

◎久保居光一郎 ○佐藤雄次郎  
・田島 信二 ・洪井 由放  
・高德 正治 ・板橋 邦夫  
・水上 正治 ・高田 悦男  
・平塚 英教

### 烏山線利用向上対策特別委員会

◎中山 五男 ○川俣 純子  
・渡辺 健寿 ・沼田 邦彦  
・佐藤 昇市 ・平山 進  
・小森 幸雄 ・滝田 志孝  
・樋山隆四郎

### 議会の動き

日	内容
平成22年4月25日	市議会議員選挙 当選証書付与式 初顔合わせ
5月6日	第3回臨時会 各委員会
5月20日	議員全員協議会 新人議員研修会
5月25日	議会運営委員会 議員全員協議会
6月1日	議員全員協議会 第4回定例会 (10日まで)
6月3日	議員全員協議会 各常任委員会
6月7日	議員全員協議会 議会広報委員会
6月10日	議会上前議長写真 掲額式
7月1日	文教福祉常任委員会視察研修 (市内)
7月2日	議会広報委員会
7月7日	議会広報委員会 栃木県市議会議長会議員研修
7月9日	議会運営委員会
7月13日	第5回臨時会

### あとながき

4月25日に市議会議員選挙が行われ、新体制の市議会がスタートしました。議会広報委員会も新メンバーとなり、今号から新メンバーの編集により市民の皆さんに議会広報をお届けすることになりました。お気づきの方もいるかもしれませんが、今回から議会広報を大きくリニューアルいたしました。主なポイントとしては、次のとおりです。

- ① これまでのA4版からタブロイド版にサイズ変更
  - ② 配付方法を自治会文書配付から新聞折込にすることでより広くよりスピーディーに
  - ③ 議案の内容や会議の結果は「広報 那須烏山」でお知らせし、本紙では議論内容と議会活動を重視
  - ④ 文字を大きく、わかりやすい表現での表記に
- 市議会での論議された内容を、臨場感をもって市民のみならずにお伝えできるように委員一同努力いたします。また、市民のみならず親しまれる広報紙を作成するためにも、ご意見、ご支援をくださいますようお願いいたします。  
(平塚英教 記)

## ライブ中継放映中!

議場に足を運ぶ余裕のない方のために、会期中、議会のライブ中継を放映しています。放映場所は、烏山庁舎玄関ホールと南那須庁舎玄関ホールです。ぜひご覧ください。

